

経済産業省委託事業

令和３年度 コンテンツ海外展開促進事業

(映像制作現場における

効果的な人材育成の実証に関する調査)

## 実施報告書

令和４年３月

特定非営利活動法人映像産業振興機構

# 令和3年度 コンテンツ海外展開促進事業

## (映像制作現場における効果的な人材育成の実証に関する調査)

### 実施報告書 目次

---

|                                |    |
|--------------------------------|----|
| 1.事業概要                         | 3  |
| 事業件名・事業目的・実施期間・運営              | 3  |
| 2.実施方法 映像制作現場における効果的な人材育成に関する  |    |
| 実証事業の実施及び実施事業の効果検証             | 4  |
| ① プラクティカルトレーニングプログラム募          | 4  |
| ② 調査対象とするプラクティカルトレーニングプログラム    | 4  |
| ③ プラクティカルトレーニングプログラムの対象とする若手人材 | 7  |
| ④ その他                          | 7  |
| 3.トレーニー、制作会社からの提出書類見           | 8  |
| トレーニー                          | 9  |
| 制作会社                           | 16 |
| 4.WEB 告知                       | 22 |
| 5.トレーニング報告                     | 25 |
| 受け入れ作品・参加人数一覧                  | 25 |
| アンケート結果（制作会社・トレーニー）            | 29 |
| 6.ヒヤリング                        | 31 |
| 制作会社                           | 31 |
| 映像系学校                          | 35 |
| 7.総括（考察と今後の課題）                 | 37 |

# 1. 事業概要

事業件名

令和3年度 コンテンツ海外展開促進事業

(映像制作現場における効果的な人材育成の実証に関する調査)

事業目的

映像産業を取りまく事業環境は、デジタル時代の到来により、世界的に大きな変革期を迎えている。特に映画産業については、経済産業省が2019年に実施した映画製作現場実態調査で明らかになった課題を踏まえ、引き続き2020年度においても映画制作現場の適正化に関する調査を実施した。当該調査において開催された人材育成等ワーキンググループでは、映画産業の未来を担う人材の育成等に資する施策の検討が行われ、特に若手スタッフの育成機会の充実を図るため、実際の制作現場において実践に基づいてスキルアップをする「プラクティカルトレーニング」を実施することで人材の能力開発を行っていくべきとされた。

スタッフに必要とされる映画・映像技術の基礎的知識は、大学、専門学校等の教育機関において教育が行われている。しかしながら、その基礎知識だけで即戦力としてプロの制作現場で通用するものでもない。実践的な知識や技術、またそれらを活かすための行動様式などは、座学だけでは習得が難しいものも多くある。

映画・映像は、スタッフ・キャストによる共同作業である。自分の担当部署だけでなく、全体の動きを掌握した上で各々の責務を果たす必要がある。それを実感して実践できる能力獲得のためには、プロの制作現場での「プラクティカルトレーニング」が効果的であると考えられる。

本調査では、デジタル時代に合致し、グローバルに活躍できる映像制作人材の効率的なトレーニングプログラムの創設に向け、実証事業を通じて調査することを目的とする。「プラクティカルトレーニング」を通じて、映画・映像制作現場における実践的な知識と技術を習得することにより、持続的に活躍できるスタッフを育成する方法を調査する。

実施期間 令和3年9月22日～令和4年3月25日

運営 特定非営利活動法人 映像産業振興機構

## 2.実施方法 映像制作現場における効果的な人材育成に関する 実証事業の実施及び実施事業の効果検証

本調査は、映像制作現場において、映像制作会社等（映像制作会社のみならず、製作委員会、映像配信事業者、複数事業者のコンソーシアム等の映像製作に関わる者を含む。以下同じ。）が組成する若手人材の育成を目的とするプラクティカルトレーニングが可能な体制を構築するプログラム（以下、プラクティカルトレーニングプログラムという。）（10プログラム程度）について、効果・検証を行い、デジタル時代に合致し、グローバルに活躍できる映像制作人材の効率的なトレーニングプログラム創設のために必要な事項について整理、分析を実施する。

### ① プラクティカルトレーニングプログラム概要

映画・映像作者との連携体制のもと、制作現場での実践的なプログラム「プラクティカルトレーニングプログラム」の機会をトレーニーに提供する。

映像制作会社等が組成するプラクティカルトレーニングプログラムは、若手人材が映像制作会社等のスタッフによる指導の下、映像制作現場において実践的な経験を積むことで、映像制作に必要な知識・技能等を習得できるものとする（10プログラム、1プログラム当たり実質50日程度を想定）。また、映像制作会社等は、若手人材の個々の技能を把握し、それに応じた指導を実施するとともに、制作現場での実践経験により生じた課題等を若手人材に指導するものとする。

なお、1プログラムあたり若手人材を指導する指導者は1名とし、1プログラムあたりトレーニングを受けるトレーニーは1名とする。プログラムの実施にあたっては、映像制作会社等へ指導料を支払うものとする。同一の映像制作現場で複数の指導者による指導を行う場合、前述の通り、指導者1名につき1プログラムと数えることとする。

募集から実習後まで、全ての段階においてKPIを設定し、プロセスの向上により効果的な育成を可能にすべく努めるものである。

### ②調査対象とするプラクティカルトレーニングプログラム

#### 【告知】

調査対象とするプラクティカルトレーニングプログラムを実施する作品について、全国に広く情報発信を行うため、事務局のホームページ等で映像制作会社等へ向けて告知を行い、公募を実施する。

事業の開始に当たっては、映像制作会社の担当者を対象に、メールによる通知や個別説明を行い、人材育成の意義の周知に努め、制作現場でのトレーニングプログラムの実施とトレーニーの受入を依頼する。事業期間中いつでも内容を確認し、参加できるよう常時、応募書類等を

ダウンロードできる仕組みを整える。

トレーニー・受け入れ作品公募／実施期間

・公募期間：2021 年 11 月 1 日より 2022 年 2 月 1 日

※10 プログラムに達した時点で公募を締め切ります。

・実施期間：2021 年 11 月 1 日より 2022 年 3 月 10 日頃

#### 【トレーニング現場の選定】

・募集は上限に達するまで通年とし、受入作品の申し込み受付は随時行う。

・制作会社からプログラム実施可能な作品の申し込みを受けた場合は、事務局において、各作品の受入可能なパート及び人数を確認する。前述の 1 プログラムあたり若手人材を指導する指導者は 1 名とし、1 プログラムあたりトレーニングを受けるトレーニーは 1 名とする。同一の映像制作現場で複数の指導者による指導を行う場合、前述の通り、指導者 1 名につき 1 プログラムと数えることとする。

・制作会社からの受入申し込みは、原則として、受入開始日より 2 週間前までに行うものとする。

・各制作会社は、事務局指定の用紙に、制作現場での指導責任者、指導担当者の氏名の他、可能な範囲で作品の詳細（製作幹事会社名、制作スケジュール、撮影予定場所、主要スタッフ・キャスト編成、配給予定・規模等）を記載し、事務局に提出する。

・制作現場に関しては、人材育成の趣旨を理解し、トレーニーを指導するにあたって人的及び物理的環境の整った現場に限定する。また、選定にあたっては、必要に応じて、事前に制作会社のヒアリングを実施し、トレーニング環境を確認するよう努める。

・コロナ対応マニュアルを整備している現場のみ選定する。

・トレーニーは、事務局指定の書式で、『プロフィール』を事務局に提出する。

・地方で撮影する制作会社や地方のトレーニーを受け付けることも考えられるため全国の制作会社への告知を広く行う。地方のトレーニーやロケを受け入れる際の条件等も制作会社と逐次確認する。

・受入可能な制作現場とトレーニー候補者が揃った時点で、トレーニングプログラム実施候補の撮影現場を選定し、トレーニー候補者と制作会社の面談を設定する。

#### ●対象となる作品：

日本国内で撮影する劇場用映画、地上波または衛星放送テレビドラマ・アニメーション作品、ネット配信映像作品等の商業作品（自主制作・短編・ミュージックビデオ・CM 類は除く）

●映画・映像制作現場の要件：

- ・人材育成の趣旨を理解し、トレーニーを指導するにあたって人的及び物理的環境の整った現場
- ・コロナ対応マニュアルを整備している現場

●プログラム件数：

- ・10 プログラム程度
- ・1 作品あたり、3～4 プログラムを上限とする

●指導担当者：

各プログラム1名の指導者を置く。1部署1プログラムとし、同一プログラムのトレーニーは3名を上限とする

【面談等事前指導の実施】

トレーニーの受け入れに当たって実施する。事前に制作現場における指導責任者、指導担当者とトレーニーの面談を行い、事務局は面談に立ち会う。コロナ禍の条件下や地方等遠隔地の制作会社やトレーニーとは、オンライン等を利用した面談を実施する。

トレーニーの現場経験、習熟レベル、現状での問題点、目標及びプログラム参加にあたっての意思、日程を確認すると同時に、指導責任者、指導担当者より、スキルの確認、参加にあたって現状問題点解決へのアドバイス、心構え、コロナ禍での健康留意の注意事項等も合わせて指導する。

【トレーニング目標の設定】

制作会社は面談に基づき、トレーニーの目標を設定し、事務局指定の用紙「指導目標シート」に記入し、提出する。同時に、トレーニーも自分の目標を「自己目標シート」（事務局指定）を記入し、事務局に提出する。

事務局と制作会社の間で、プログラムに関わる受入条件等を契約書にて締結する。

【プログラムの実践】

トレーニーに制作会社の指揮監督の下で、制作会社スタッフ等から作品制作過程等を実習させる。制作会社の指導責任者・指導担当者は、予め行った面談に基づき、各トレーニーが各々の実習目標を達成できるよう指導すると同時に、実習中の健康と安全に十分留意するものとし、万が一何らかの問題が発生した場合は、直ちに事務局に報告することとする。

### ③プラクティカルトレーニングプログラムの対象とする若手人材

トレーニングの対象とする若手人材は、映像制作の従事歴が3年以内若しくは従事した作品が3作品以下の者とし、事務局による公募、若しくは映像制作会社等による推薦等にて決定する。なお、特段の事情がある場合はこの限りではないが、その場合は、経済産業省と協議した上、決定する。従事歴の確認のため、トレーニーは、事務局指定の書式で『プロフィール』を事務局に提出する。

#### ●トレーニー対象者：

映像制作の従事歴が3年以内若しくは従事した商業作品が3作品以下の者（自主制作・短編・ミュージックビデオ・CM類は除く）

### ④その他

本調査の実施にあたっては、育成効果の最大化等の観点から適切にフォローを実施しながら運営し、事後の参加者のヒアリングやアンケート、若手人材との面談等を通じた効果検証を行うとともに、デジタル時代に合致し、グローバルに活躍できる映像制作人材の効率的なトレーニングプログラムの創設のために必要な事項について整理、分析を実施する。

その他、調査実施にあたり、①から④以外の事項については、経済産業省と協議した上、決定する。

#### 【事務局によるプログラム進行状況の確認】

事務局は、プログラムが行われる制作現場を視察し、プログラム進行状況、実習環境等を確認する。

#### 【事後指導、プログラム実践成果の確認】

制作会社が中心となって制作現場でのプログラムに基づき、課題等を指導する。プログラム終了後、指導責任者及びトレーニーは、事前指導の際に設定した目標にそって、各々事務局指定の用紙（「評価シート」）で、成果についてのレポートを提出する。各々の「評価シート」及び指導責任者が確認したトレーニーが提出する「日報」により、成果の確認の後に、事務局から制作会社に対して、現場指導料を随時支払うものとする。「評価シート」の内容に疑問がある場合は、制作会社及びトレーニーにヒアリングを行い、プログラムの成果及びトレーニング環境などの確認を行う。

●現場指導料：映画映像制作会社等へトレーニー1名当たり1日¥15,000(税込)を実動50日

まで支払う。

#### 【フォローアップ】

本事業の参加者に対して、年度末に次年度以降の進路予定や参加後の活動内容等についての追跡調査を行う。参加後に映画・映像業界で定着しているか、従事した作品など活動状況を可能な範囲で調査する。次年度へ向けてデータを蓄積し、集めたデータ（情報）を本事業の充実と促進に活用するよう分析する。

### 3. トレーニー・制作会社・からの提出書類

事務局 WEB サイトから事務局指定の用紙をダウンロードして必要事項を記載し、事務局に提出する。

#### トレーニー

- T1 トレーニープロフィール
- T2 自己目標シート
- T3 自己評価シート
- T4 日報

#### 映画・映像制作会社

- PT トレーニー推薦書
- P1 受け入れ作品情報シート
- P2 指導目標シート
- P3 指導評価シート

#### 契約書

事務局と制作会社の間で、トレーニング実施決定後にプログラムに関わる受け入れ条件等定めた契約書を締結する。

## トレーニー提出書類見本

### T1 トレーニープロフィール

トレーニー自身による学習歴、映像業界の従事歴を記入する

 T1

**R3 プラクティカルトレーニングプログラム**

## トレーニープロフィール

提出日：令和      年      月      日

|                                                                                        |                                               |                     |                             |                             |                                   |
|----------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------|---------------------|-----------------------------|-----------------------------|-----------------------------------|
| (写真)<br><br>・顔がはっきりわかるもの<br>・6ヶ月以内に撮影のもの<br>・サイズ 3.0cm×4.0cm                           | <b>氏名</b>                                     | ふりがな                |                             |                             |                                   |
|                                                                                        |                                               | 氏名                  |                             |                             |                                   |
|                                                                                        | <b>年齢・性別</b>                                  | 才                   | <input type="checkbox"/> 男性 | <input type="checkbox"/> 女性 | <input type="checkbox"/> (      ) |
|                                                                                        | <b>生年月日</b>                                   | (西暦)                | 年                           | 月                           | 日                                 |
|                                                                                        | <b>住所</b>                                     | 〒      -      (出身地) |                             |                             |                                   |
|                                                                                        | <b>携帯番号</b>                                   |                     |                             |                             |                                   |
|                                                                                        | <b>メールアドレス</b>                                |                     |                             |                             |                                   |
| <b>最終学歴</b>                                                                            | 学校名      年卒業<br>学部・学科<br>ゼミ等                  |                     |                             |                             |                                   |
| <b>映像分野の履修歴</b><br>(最終学歴以外の映像系大学・専門学校やその他映画教育機関の履修歴)                                   | (西暦/月)                                        |                     | (卒業、修了等の略歴を記入)              |                             |                                   |
|                                                                                        | 年                                             | 月                   |                             |                             |                                   |
|                                                                                        | 年                                             | 月                   |                             |                             |                                   |
|                                                                                        | 年                                             | 月                   |                             |                             |                                   |
|                                                                                        | 年                                             | 月                   |                             |                             |                                   |
|                                                                                        | 年                                             | 月                   |                             |                             |                                   |
| <b>映像分野の活動履歴</b><br>(短編、MV、CM等も含め記入。応募条件は業界歴が3年以内、もしくは従事した商業作品(短編、MV、CMを除く)が3本以内であること) | 西暦                                            | ジャンル/作品名            |                             | 職種                          |                                   |
|                                                                                        | 年                                             |                     |                             |                             |                                   |
|                                                                                        | 年                                             |                     |                             |                             |                                   |
|                                                                                        | 年                                             |                     |                             |                             |                                   |
|                                                                                        | 年                                             |                     |                             |                             |                                   |
|                                                                                        | 年                                             |                     |                             |                             |                                   |
|                                                                                        | 年                                             |                     |                             |                             |                                   |
|                                                                                        | 年                                             |                     |                             |                             |                                   |
|                                                                                        | 年                                             |                     |                             |                             |                                   |
|                                                                                        | 年                                             |                     |                             |                             |                                   |
| <b>参加可能期間</b>                                                                          | 令和      年      月      日～      年      月      日 |                     |                             |                             |                                   |



参加希望作品が決まっている場合は作品名を記入してください。

作品名：『 』

| 希望職種                           |       |  |
|--------------------------------|-------|--|
| 志望動機、現在か<br>かえている問題・<br>課題、目標等 | 志望動機  |  |
|                                | 問題・課題 |  |
|                                | 目標    |  |

※健康状態をお聞かせください。

|       |                                                                          |
|-------|--------------------------------------------------------------------------|
| 健康状態  | <input type="checkbox"/> 健康 <input type="checkbox"/> 不健康                 |
|       | その他 ( )                                                                  |
| 海外渡航歴 | <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 / 参加可能日より遡って14日以内に |
|       | 国・地域 ( )                                                                 |

ご記入いただきました携帯電話番号・メールアドレス等の連絡先は、トレーニングに際しての事務局や制作会社指導担当者からの連絡のほか、プログラム修了後、事務局からのアンケート調査等の連絡にも使用させていただきます。

## T2 自己目標シート

トレーニーは、自分の目標を記入し、事務局に提出

 T2

R3 プラクティカルトレーニングプログラム

### トレーニー【目標シート】

提出日：令和 年 月 日

|            |    |   |   |    |   |   |   |  |
|------------|----|---|---|----|---|---|---|--|
| 名前         |    |   |   |    |   |   |   |  |
| 制作会社       |    |   |   |    |   |   |   |  |
| 作品名        |    |   |   |    |   |   |   |  |
| 指導担当者※1    |    |   |   |    |   |   |   |  |
| 指導責任者※1    |    |   |   |    |   |   |   |  |
| 職種         |    |   |   |    |   |   |   |  |
| 期間         | 令和 | 年 | 月 | 日～ | 年 | 月 | 日 |  |
| 自主受け入れ期間※2 | 令和 | 年 | 月 | 日～ | 年 | 月 | 日 |  |

|    |  |
|----|--|
| 目標 |  |
|----|--|

※1 「指導担当者」と「指導責任者」が同一人物である場合は、「指導責任者」欄に記入してください。

※2 「自主受け入れ期間」がある場合のみ記入してください。

「自主受け入れ期間」とは**実働1カ月=50日間を超える場合の期間**となります。



## T3 自己評価シート

プログラム終了後、トレーニーは、事前指導時に設定した目標に沿って成果についてレポート



R3 プラクティカルトレーニングプログラム

### トレーニー【自己評価シート】

※プログラム終了後、速やかに事務局へメールにて提出してください。

※「指導担当者」と「指導責任者」が同一人物である場合は、「指導責任者」欄に記入してください。

※公式サイト・SNS等に年齢・性別や本評価シートのコメントを現場の声として掲載する場合がございますので、ご了承ください。

※文字がはみ出してしまう場合は文字の大きさを変えたり、枠を大きくしても問題ありません。

提出日：令和 年 月 日

|                                                                  |                          |
|------------------------------------------------------------------|--------------------------|
| 名前                                                               |                          |
| 制作会社                                                             |                          |
| 作品名                                                              |                          |
| 指導担当者                                                            |                          |
| 指導責任者                                                            |                          |
| 職種                                                               |                          |
| 期間                                                               | 令和 年 月 日 ～ 年 月 日         |
| 自主受け入れ期間                                                         | 令和 年 月 日 ～ 年 月 日 ※ある場合のみ |
| <b>実際の作業内容</b><br><br>現場の担当パートで実際に行った作業内容を書いてください。               |                          |
| <b>学んだこと<br/>成果・チャレンジ<br/>したことなど</b><br><br>現場で学んだことや成果を書いてください。 |                          |
| <b>今後の課題</b><br><br>プログラムを終えて、改善すべき点、将来への課題を書いてください              |                          |
| <b>今後の進路</b><br><br>プログラムを終えて、改めて就きたい職種、その理由を書いてください。            |                          |



【1/2】

|                                                                                                  |  |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------|--|
| <p><b>受け入れ先への<br/>要望・意見</b></p> <p>受け入れ先の制作会社へ本当<br/>はこうしてほしかった点や意<br/>見がありましたら書いてくだ<br/>さい。</p> |  |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------|--|

**Q1 プログラムを通しての満足度**

↓番号に○をつけてください

満足できなかった ← 1 2 3 4 5 → とても満足できた (

**Q2 プログラムを通しての有益度**

有益ではなかった ← 1 2 3 4 5 → とても有益となった (

**Q3 プログラムを通して担当実務の理解度**

理解できなかった ← 1 2 3 4 5 → とても理解できた (

**Q4 プログラムを終えて、仕事を継続したいですか？**

継続したくない ← 1 2 3 4 5 → とても継続したい (

**Q5 プログラムを同期や後輩に勧めますか？**

勧められない ← 1 2 3 4 5 → 是非勧めたい (

|                                   |  |
|-----------------------------------|--|
| <p><b>Q1～5で<br/>1,2を選んだ理由</b></p> |  |
| <p><b>その他、自由に<br/>感想や意見</b></p>   |  |

## T4 日報

トレーニーは、トレーニング期間中に日々の業務内容を記載し、トレーニング終了時に指導責任者に提出。指導責任者が確認後に事務局へ提出。

T4

R3 プラクティカルトレーニングプログラム

トレーニー【日報】

|           |  |   |                                                                                               |
|-----------|--|---|-----------------------------------------------------------------------------------------------|
| 作品名       |  |   |                                                                                               |
| 氏名        |  | 印 | <日報の提出手順><br>①トレーニーが日報を記入し捺印、または自筆サイン<br>②プログラム終了後に指導担当者へ提出<br>※プログラム最終日に提出するとその後の手続きがスムーズです。 |
| 職種        |  |   |                                                                                               |
| ↓制作会社記入欄↓ |  |   |                                                                                               |
| 制作会社      |  |   |                                                                                               |
| 指導担当者     |  |   |                                                                                               |
| 指導責任者     |  | 印 | ③指導担当者が確認後、指導責任者へ提出<br>④指導責任者が捺印（サイン可）後、事務局へ提出                                                |

期間：令和 年 月 日( )～ 年 月 日( )  
 自主受入期間：令和 年 月 日( )～ 年 月 日( )

※自主受入期間（50日以上）がある場合、記入してください

※連休や準備期間を含め全日程記入してください。

|    | 日付       | 曜日 | 体温   | トレーニング現場 | 実務内容 ※準備などの場合、準備内容を記入してください  |
|----|----------|----|------|----------|------------------------------|
| 例  | 8 月 20 日 | 水  | 36.5 | 成城撮影所    | オールスタッフミーティング、美術打ち合わせ、シーン1準備 |
| 例  | 10 月 5 日 | 木  | 36.3 | 鎌倉***海岸  | シーン40、41、60撮影 セッティング         |
| 1  | 月 日      |    |      |          |                              |
| 2  | 月 日      |    |      |          |                              |
| 3  | 月 日      |    |      |          |                              |
| 4  | 月 日      |    |      |          |                              |
| 5  | 月 日      |    |      |          |                              |
| 6  | 月 日      |    |      |          |                              |
| 7  | 月 日      |    |      |          |                              |
| 8  | 月 日      |    |      |          |                              |
| 9  | 月 日      |    |      |          |                              |
| 10 | 月 日      |    |      |          |                              |
| 11 | 月 日      |    |      |          |                              |
| 12 | 月 日      |    |      |          |                              |
| 13 | 月 日      |    |      |          |                              |
| 14 | 月 日      |    |      |          |                              |
| 15 | 月 日      |    |      |          |                              |
| 16 | 月 日      |    |      |          |                              |
| 17 | 月 日      |    |      |          |                              |
| 18 | 月 日      |    |      |          |                              |
| 19 | 月 日      |    |      |          |                              |
| 20 | 月 日      |    |      |          |                              |
| 21 | 月 日      |    |      |          |                              |
| 22 | 月 日      |    |      |          |                              |
| 23 | 月 日      |    |      |          |                              |
| 24 | 月 日      |    |      |          |                              |
| 25 | 月 日      |    |      |          |                              |
| 26 | 月 日      |    |      |          |                              |
| 27 | 月 日      |    |      |          |                              |
| 28 | 月 日      |    |      |          |                              |
| 29 | 月 日      |    |      |          |                              |
| 30 | 月 日      |    |      |          |                              |

## トレーニー【日報②】 31～60日

|     |  |  |  |
|-----|--|--|--|
| 作品名 |  |  |  |
| 氏名  |  |  |  |
| 職種  |  |  |  |

期間：令和 年 月 日( )～ 年 月 日( )  
 自主受入期間：令和 年 月 日( )～ 年 月 日( )

※自主受入期間（51日以上）がある場合、記入してください

※連休や準備期間を含め全日程記入してください。

|    | 日付  | 曜日 | 体温 | トレーニング現場 | 実務内容 ※準備などの場合、準備内容を記入してください |
|----|-----|----|----|----------|-----------------------------|
| 31 | 月 日 |    |    |          |                             |
| 32 | 月 日 |    |    |          |                             |
| 33 | 月 日 |    |    |          |                             |
| 34 | 月 日 |    |    |          |                             |
| 35 | 月 日 |    |    |          |                             |
| 36 | 月 日 |    |    |          |                             |
| 37 | 月 日 |    |    |          |                             |
| 38 | 月 日 |    |    |          |                             |
| 39 | 月 日 |    |    |          |                             |
| 40 | 月 日 |    |    |          |                             |
| 41 | 月 日 |    |    |          |                             |
| 42 | 月 日 |    |    |          |                             |
| 43 | 月 日 |    |    |          |                             |
| 44 | 月 日 |    |    |          |                             |
| 45 | 月 日 |    |    |          |                             |
| 46 | 月 日 |    |    |          |                             |
| 47 | 月 日 |    |    |          |                             |
| 48 | 月 日 |    |    |          |                             |
| 49 | 月 日 |    |    |          |                             |
| 50 | 月 日 |    |    |          |                             |
| 51 | 月 日 |    |    |          |                             |
| 52 | 月 日 |    |    |          |                             |
| 53 | 月 日 |    |    |          |                             |
| 54 | 月 日 |    |    |          |                             |
| 55 | 月 日 |    |    |          |                             |
| 56 | 月 日 |    |    |          |                             |
| 57 | 月 日 |    |    |          |                             |
| 58 | 月 日 |    |    |          |                             |
| 59 | 月 日 |    |    |          |                             |
| 60 | 月 日 |    |    |          |                             |

映画・映像制作会社 提出書類見本

P1 受け入れ作品情報シート

トレーニー受け入れ可能なパートおよび制作現場での指導責任者、指導担当者の氏名や、可能な範囲で作品の詳細を記入する。



P1

**R3 プラクティカルトレーニングプログラム**

令和 年 月 日

## トレーニー受け入れ希望シート

本シートを元に公式サイト・公式SNS等でトレーニーを募集します。(告知可能な事項のみ)

|                                                                                                                                                                                      |                     |                                |                                                                      |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------|--------------------------------|----------------------------------------------------------------------|
| ①制作会社名                                                                                                                                                                               |                     | ⑦指導責任者                         |                                                                      |
|                                                                                                                                                                                      |                     | 携帯番号                           |                                                                      |
| ②住所                                                                                                                                                                                  | 〒 —                 | メールアドレス                        |                                                                      |
|                                                                                                                                                                                      |                     | ⑧スタジオ                          |                                                                      |
| ③電話                                                                                                                                                                                  |                     | ⑨ロケ予定地                         |                                                                      |
| FAX                                                                                                                                                                                  |                     | 前プログラム期間中の宿泊                   | <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無                |
| ④作品名                                                                                                                                                                                 |                     | 宿泊期間                           | / ~ /                                                                |
|                                                                                                                                                                                      |                     | 宿泊先名                           |                                                                      |
| ⑤制作期間                                                                                                                                                                                | 令和 年 月 日 ~ 令和 年 月 日 | 住所                             |                                                                      |
|                                                                                                                                                                                      |                     | 電話                             |                                                                      |
| ⑥予定メインスタッフ                                                                                                                                                                           |                     | ⑪作品概要                          |                                                                      |
| 監督                                                                                                                                                                                   |                     |                                |                                                                      |
| 脚本                                                                                                                                                                                   |                     |                                |                                                                      |
| 撮影                                                                                                                                                                                   |                     |                                |                                                                      |
| 照明                                                                                                                                                                                   |                     |                                |                                                                      |
| 録音                                                                                                                                                                                   |                     |                                |                                                                      |
| 美術                                                                                                                                                                                   |                     |                                |                                                                      |
| 装飾                                                                                                                                                                                   |                     |                                |                                                                      |
| 衣裳                                                                                                                                                                                   |                     |                                |                                                                      |
| ヘアメイク                                                                                                                                                                                |                     |                                |                                                                      |
| 編集                                                                                                                                                                                   |                     | 予定メインキャスト                      |                                                                      |
| スクリプター                                                                                                                                                                               |                     | 製作委員会                          |                                                                      |
| 助監督                                                                                                                                                                                  |                     | 構成会社                           |                                                                      |
| 制作部                                                                                                                                                                                  |                     | 幹事会社                           |                                                                      |
| ラインプロデューサー                                                                                                                                                                           |                     | 配給会社                           |                                                                      |
| プロデューサー                                                                                                                                                                              |                     | 公開・OA・配信日                      |                                                                      |
| 製作(人名)                                                                                                                                                                               |                     | 公開規模・総数/OA・配信規模                |                                                                      |
| 制作会社                                                                                                                                                                                 |                     | 製作費                            |                                                                      |
| ※スタッフ表・キャスト表を別途添付してください。                                                                                                                                                             |                     | ⑫トレーニーの事故(ケガ・物損等)を補償できる保険加入の有無 |                                                                      |
|                                                                                                                                                                                      |                     | 傷害保険                           | <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無                |
|                                                                                                                                                                                      |                     | 賠償責任保険                         | (第三者である人・物の賠償) <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 |
|                                                                                                                                                                                      |                     | 賠償責任保険                         | (借用機材への補償) <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無     |
| ⑬撮影にあたり、以下のいずれかの団体が策定する「新型コロナウイルス感染予防対策ガイドライン」を守ります。                                                                                                                                 |                     |                                |                                                                      |
| <input type="checkbox"/> 日本映画製作者連盟 <input type="checkbox"/> 日本映画製作者協会 <input type="checkbox"/> ジャパン・フィルムコミッション <input type="checkbox"/> 日本民間放送連盟<br><input type="checkbox"/> その他 ( ) |                     |                                |                                                                      |

※上記ガイドラインを守らない撮影現場は、トレーニング実施現場の対象となりません。

※アニメーション制作の場合、記載についてはご相談ください。



## 【受入詳細】

| ①受入職種 | ②受入人数 | ③受入期間 | ④受入工程 | ⑤指導担当者 | ⑥受入条件・希望 |
|-------|-------|-------|-------|--------|----------|
|       | 名     |       |       |        |          |
|       | 名     |       |       |        |          |
|       | 名     |       |       |        |          |
|       | 名     |       |       |        |          |
|       | 名     |       |       |        |          |

①受入職種：具体的にご記入ください。

（例）演出・撮影・照明・録音・美術・装飾・衣裳・ヘアメイク・編集・スクリプター・制作・ポストプロダクションなど

②受入人数：きちんとした指導ができる受入可能な人数をご記入ください。

③受入期間：出来るだけ準備期間を含めた期間をご検討いただき、ご記入ください。

④受入工程：各職種で、研修を受けることができる工程をご記入ください。

（例）下打ち合わせから撮影終了時まで

⑤指導担当者：現場で直接指導するスタッフ名をご記入ください。

⑥受入条件・希望等：受け入れを希望するトレーニーに求めるスキル、経験等をご記入ください。

※本事業の報告書・公式サイト・公式SNS等に作品名、監督、制作会社名ほか職種・期間等を掲載する場合がありますのでご了承下さい。

# PT トレーニー推薦書

制作会社からトレーニー推薦する場合に記入し、トレーニー自身が記入する「T1 トレーニープロフィール」と合わせて制作会社から事務局に提出する。尚、制作会社の推薦がなくても選考に影響しない。



R3 プラクティカルトレーニングプログラム

## トレーニー推薦書

提出日：令和 年 月 日

|           |         |     |
|-----------|---------|-----|
| 制作会社名     |         |     |
| 住所・電話・FAX | 〒 —     |     |
|           | 電話      | FAX |
| 製作責任者     | 所属      | 役職  |
|           | 氏名 印    |     |
| 指導責任者     | 所属      | 役職  |
|           | 氏名 印    |     |
| 連絡担当者     | 所属      | 役職  |
|           | 氏名 印    |     |
| 連絡先       | 電話      | FAX |
|           | メールアドレス |     |

※「指導責任者」と「連絡担当者」が同一人物である場合は、「指導責任者」欄に記入してください

|         |      |
|---------|------|
| トレーニー氏名 | ふりがな |
| 推薦理由    |      |



VVO VIRTUAL VOICE ORGANIZATION

## P2 指導目標シート

マッチングでトレーニーの受け入れが決定した後に、指導責任者および指導担当者は、面談に基づき現場でのトレーニーの業務内容を明確にしトレーニングプログラムとしてトレーニング目標の設定を行う。

 P2

R3 プラクティカルトレーニングプログラム

### 制作会社【 目標シート 】

提出日： 令和 年 月 日

|   |                 |                 |
|---|-----------------|-----------------|
|   | <b>制作会社</b>     |                 |
|   | <b>作品名</b>      |                 |
| ※ | <b>指導担当者</b>    |                 |
| ※ | <b>指導責任者</b>    |                 |
|   | <b>職種</b>       |                 |
|   | <b>期間</b>       | 令和 年 月 日～ 年 月 日 |
| ※ | <b>自主受け入れ期間</b> | 令和 年 月 日～ 年 月 日 |
|   | <b>トレーニー</b>    |                 |

|           |  |
|-----------|--|
| <b>目標</b> |  |
|-----------|--|

・指導するにあたり、指導責任者と指導担当で目標を設定し、事務局へ提出してください。

・トレーニー1名につき1枚記入。

※「指導担当者」と「指導責任者」が同一人物である場合は、「指導責任者」欄に記入してください。

※「自主受け入れ期間」は自主受け入れ期間がある場合のみ記入してください。

→「自主受け入れ期間」とは実働1カ月=50日間を超える場合の期間となります。

## P3 指導評価シート

プログラム終了後、指導責任者・指導担当者は、事前指導時に設定した目標に沿って成果についてレポート



R3 プラクティカルトレーニングプログラム

### トレーニー【自己評価シート】

※プログラム終了後、速やかに事務局へメールにて提出してください。

※「指導担当者」と「指導責任者」が同一人物である場合は、「指導責任者」欄に記入してください。

※公式サイト・SNS等に年齢・性別や本評価シートのコメントを現場の声として掲載する場合がございますので、ご了承ください。

※文字がはみ出してしまう場合は文字の大きさを変えたり、枠を大きくしても問題ありません。

提出日：令和 年 月 日

|                                                                  |                          |
|------------------------------------------------------------------|--------------------------|
| 名前                                                               |                          |
| 制作会社                                                             |                          |
| 作品名                                                              |                          |
| 指導担当者                                                            |                          |
| 指導責任者                                                            |                          |
| 職種                                                               |                          |
| 期間                                                               | 令和 年 月 日 ～ 年 月 日         |
| 自主受け入れ期間                                                         | 令和 年 月 日 ～ 年 月 日 ※ある場合のみ |
| <b>実際の作業内容</b><br><br>現場の担当パートで実際に行った作業内容を書いてください。               |                          |
| <b>学んだこと<br/>成果・チャレンジ<br/>したことなど</b><br><br>現場で学んだことや成果を書いてください。 |                          |
| <b>今後の課題</b><br><br>プログラムを終えて、改善すべき点、将来への課題を書いてください              |                          |
| <b>今後の進路</b><br><br>プログラムを終えて、改めて就きたい職種、その理由を書いてください。            |                          |



【1/2】

|                                                                       |  |
|-----------------------------------------------------------------------|--|
| <b>トレーニーへの<br/>要望・意見</b><br><br>トレーニーへの本当はこうしてほしかった点や意見がありましたら書いてください |  |
|-----------------------------------------------------------------------|--|

Q1 トレーニーによく指導できましたか？

↓番号に○をつけてください

指導不足だった ← 1 2 3 4 5 → とても指導できた

Q2 トレーニーの担当実務の理解度

理解できていなかった ← 1 2 3 4 5 → とても理解できていた

Q3 トレーニーの積極性

積極的ではなかった ← 1 2 3 4 5 → とても積極的だった

Q4 トレーニーの協調性

協調性がなかった ← 1 2 3 4 5 → とても協調できていた

Q5 トレーニーに、映像制作の職業を続けてほしいですか？

続けてほしくない ← 1 2 3 4 5 → 是非続けてほしい

Q6 次の現場でもトレーニーを受け入れたいですか？

受け入れたくない ← 1 2 3 4 5 → 是非受け入れたい

|                            |  |
|----------------------------|--|
| <b>Q1～6で<br/>1,2を選んだ理由</b> |  |
|----------------------------|--|

↓指導責任者記入欄 ※他に申請したいことがありましたら、別紙で提出してください。

|                          |  |
|--------------------------|--|
| <b>指導責任者からの<br/>コメント</b> |  |
|--------------------------|--|

|                                                |  |
|------------------------------------------------|--|
| <b>その他、自由に<br/>感想や意見</b><br><br>本事業に対する感想や意見など |  |
|------------------------------------------------|--|

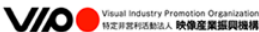
## 4.WEB 告知

事務局である映像産業振興機構(VIPO)サイト 2 か所で告知。

トップページ「イベント・セミナー・公募情報」にて令和3年11月1日に事業告知と同時に映画・映像制作会社とプログラム参加者(トレーニー)を募集開始した。

同時に当機構「事業案内」ページにも事業概要、応募要項詳細を掲載し、各種提出書類を簡単にダウンロードできるページを構築した。

### WEB ページ①「イベント・セミナー・公募情報」



Visual Industry Promotion Organization  
特定非営利活動法人 映像産業振興機構

アクセス English 小 中 大 Google 検索

VIPOとは | 事業内容 | インタビュー | お問い合わせ | 採用情報 | メールニュース登録

新着情報

[ホーム](#) > [新着情報一覧](#) >  
【新規事業】映像人材育成調査事業 効果的な映像制作スタッフの育成方法を調査。OJT「プラクティカルトレーニング」を実施していただく映画・映像制作会社とプログラム参加者(トレーニー)募集！

2021.11.01 イベント・セミナー・公募情報

**【新規事業】映像人材育成調査事業 効果的な映像制作スタッフの育成方法を調査。OJT「プラクティカルトレーニング」を実施していただく映画・映像制作会社とプログラム参加者(トレーニー)募集！**

VIPO(ヴィーポ)は、経済産業省の令和3年度「コンテンツ海外展開促進事業(映像制作現場における効果的な人材育成の実証に関する調査)」を受託いたしました。

本調査では、映画・映像撮影現場において、若手スタッフが実践的な知識と技術を習得することができるOJT(オン・ザ・ジョブ・トレーニング)プログラム、「プラクティカルトレーニング」を実施することにより、効果的な映像制作スタッフの育成方法を調査いたします。

つきましては、「プラクティカルトレーニング」を実施していただく映画・映像制作現場並びにプログラム参加者(トレーニー)を以下の通り募集いたします。応募多数となった場合は、書類選考やヒアリングの上で採択します。

**■プラクティカルトレーニングプログラムの概要**

**●対象となる作品：**  
日本国内で撮影する劇場用映画、地上波または衛星放送テレビドラマ・アニメーション作品、ネット配信映像作品等の商業作品(自主制作・短編・ミュージックビデオ・CM類は除く)

**●映画・映像制作現場の要件：**  
・人材育成の趣旨を理解し、トレーニーを指導するにあたって人的及び物理的環境の整った現場  
・コロナ対応マニュアルを整備している現場

**●プログラム件数：**  
・10プログラム程度  
・1作品あたり、3〜4プログラムを上限とする

**●指導担当者：**  
各プログラム1名の指導者を置く。1部署1プログラムとし、同一プログラムのトレーニーは3名を上限とする

**●トレーニー対象者：**  
映像制作の従事者が3年以内若しくは従事した商業作品が3作品以下の者(自主制作・短編・ミュージックビデオ・CM類は除く)

**●指導料：**  
映画映像制作会社等へ指導料が支払われる(1トレーニー当たり実働50日まで)

**■公募/実施期間**

・公募期間：2021年11月1日より2022年2月1日(予定)  
※10プログラムに達した時点で公募を締め切る場合があります。  
・実施期間：2021年11月1日より2022年3月10日頃

応募方法および事業の流れはこちら

**◆お問い合わせ**  
「映像人材育成事業」事務局  
特定非営利活動法人映像産業振興機構(VIPO)  
映像人材育成事業担当  
TEL: 03-3543-7531 (平日10:00~17:30)  
FAX: 03-3543-7533  
Eメール: [sizou\\_ojt@vipoo.or.jp](mailto:sizou_ojt@vipoo.or.jp)  
住所: 〒104-0045 東京都中央区築地4-1-1 東劇ビル2F


Visual Industry Promotion Organization  
特定非営利活動法人 映像産業振興機構

[Qアクセス](#)
[English](#)
[小](#)
[中](#)
[大](#)

[VIPOとは](#)
[事業内容](#)
[インタビュー](#)
[お問い合わせ](#)
[採用情報](#)
[メールニュース登録](#)

[ホーム](#)
>
[事業内容](#)
>
[令和3年度「コンテンツ海外展開促進事業（映像制作現場における効果的な人材育成の…](#)

## 令和3年度「コンテンツ海外展開促進事業（映像制作現場における効果的な人材育成の実証に関する調査）」

本調査では、映画・映像撮影現場において、若手スタッフが実践的な知識と技術を習得することができるOJT（オン・ザ・ジョブ・トレーニング）プログラム、「プラクティカルトレーニング」を実施することにより、効果的な映像制作スタッフの育成方法を調査いたします。

### プラクティカルトレーニングプログラムの概要

●対象となる作品：  
日本国内で撮影する劇場用映画、地上波または衛星放送テレビドラマ・アニメーション作品、ネット配信映像作品等の商業作品（自主制作・短編・ミュージックビデオ・CM類は除く）

●映画・映像制作現場の要件：  
・人材育成の趣旨を理解し、トレーニーを指導するにあたって人的及び物理的環境の整った現場  
・コロナ対応マニュアルを整備している現場

●プログラム件数：  
・10プログラム程度  
・1作品あたり、3～4プログラムを上限とする

●指導担当者：  
各プログラム1名の指導者を置く。1部署1プログラムとし、同一プログラムのトレーニーは3名を上限とする

●トレーニー対象者：  
映像制作の従事者が3年以内若しくは従事した商業作品が3作品以下の者（自主制作・短編・ミュージックビデオ・CM類は除く）

●指導料：  
映画映像制作会社等へ指導料が支払われる。（1トレーニー当たり実働50日まで）

### 公募／実施期間

・公募期間：2021年11月1日より2022年2月1日（予定）  
※10プログラムに達した時点で公募を締め切る場合があります。  
・実施期間：2021年11月1日より2022年3月10日頃

### 応募方法

#### 制作会社の方

事務局指定の用紙「P1 受け入れ作品情報シート」に以下必要事項を記載し、事務局にご提出ください。

①トレーニー受け入れ可能なパートおよび制作現場での指導責任者、指導担当者の氏名  
②可能な範囲で作品の詳細  
・制作幹事会社名  
・制作スケジュール、撮影予定場所  
・主要スタッフ・キャスト構成  
・配給・配信・放映予定、作品規模等

 [P1 受け入れ作品情報シート（エクセルファイル：ダウンロード）](#)

③トレーニーは、制作会社からの推薦も受け付けます。  
下記「PT トレーニー推薦書」に記入し、トレーニー自身が記入する「T1 トレーニープロフィール」と合わせて事務局にご提出ください。

 [PT トレーニー推薦書（エクセルファイル：ダウンロード）](#)

#### プログラム参加者（トレーニー）の方

トレーニーは事務局指定の用紙「T1 トレーニープロフィール」に必要事項を記入し、事務局にご提出ください。  
※制作会社から推薦いただく場合は、前述の「PT トレーニー推薦書」を制作会社に記入いただき、「T1 トレーニープロフィール」と合わせて、制作会社から事務局へ提出してください。尚、制作会社の推薦がなくても選考に影響はありません。

 [T1 トレーニープロフィール（エクセルファイル：ダウンロード）](#)

※応募にあたっては各提出書類をダウンロードのうえ、メールにて事務局（[eizou\\_ojt@vipa.or.jp](mailto:eizou_ojt@vipa.or.jp)）まで送ってください。

### 実施要領

#### 実施現場の決定

トレーニー受け入れ希望の制作現場の中から、事務局がトレーニング実施現場を選定し、トレーニング参加希望者とのマッチングを行います。

#### 相談等事前指導の実施

トレーニングの実施に当たっては、事務局が立ち合い、事前に制作現場における指導責任者、指導担当者とトレーニーの面談を行い、トレーニーの現場経験、習熟レベル、現状での課題点、目標、トレーニングスケジュール等を確認すると同時に、指導責任者、指導担当者より、スキルの確認、参加にあたって現状課題解決へのアドバイス、心構え等を指導いたします。

#### トレーニング目標の設定

- ・トレーニーは、制作会社の指揮監督の下で撮影現場にスタッフとして参加しながら、トレーニング指導責任者・指導担当者他現場スタッフより、各パートに必要な技術、作品制作過程等を学びます。
- ・制作会社の指導責任者・指導担当者は、面談に基づきトレーニーの目標を設定し、事務局指定の用紙「P2 指導目標シート」に記入し、事務局にご提出ください。

 [P2 指導目標シート \(エクセルファイル: ダウンロード\)](#)

- ・トレーニーは、自分の目標を事務局指定の用紙「T2 自己目標シート」に記入し、事務局にご提出ください。

 [T2 自己目標シート \(エクセルファイル: ダウンロード\)](#)

#### 契約書

事務局と制作会社の間で、プログラムに関わる受け入れ条件等定めた契約書を締結いたします。  
※トレーニング実施決定後に事務局から提示いたします。

#### プログラムの実践

- ・指導責任者および指導担当者は、トレーニーとの面談に基づき、現場でのトレーニーの業務内容を明確にし、これをトレーニングプログラムとしてトレーニーに実践させ、指導するものとします。
- ・トレーニーは、トレーニング期間中、事務局指定の用紙「T4 日報」に日々の業務内容を記載し、トレーニング終了時に、指導責任者はこれを確認後、事務局へご提出ください。

 [T4 日報 \(エクセルファイル: ダウンロード\)](#)

#### 事後指導、プログラム実践成果の確認

プログラム終了後、指導責任者・指導担当者およびトレーニーは、事前指導時に設定した目標にそって、各々事務局指定の用紙「評価シート」で、成果についてのレポートをご提出ください。各々の「評価シート」および「T4 日報」によりトレーニング成果を把握後、事務局から制作会社に対して、現場指導料（トレーニー1名当たり1日¥15,000（税込））をお支払いいたします。「評価シート」の内容に疑問がある場合は、制作会社およびトレーニーにヒアリングを行い、トレーニングの成果および実施環境などの確認を行います。

 [P3 指導評価シート \(エクセルファイル: ダウンロード\)](#)

 [T3 自己評価シート \(エクセルファイル: ダウンロード\)](#)

 [T4 日報 \(エクセルファイル: ダウンロード\)](#)

#### 提出書類ダウンロード一覧

映画・映像制作会社の方向

- ・  [PT トレーニー推薦書](#)
- ・  [P1 受け入れ作品情報シート](#)
- ・  [P2 指導目標シート](#)
- ・  [P3 指導評価シート](#)

トレーニーの方向

- ・  [T1 トレーニープロフィール](#)
- ・  [T2 自己目標シート](#)
- ・  [T3 自己評価シート \(エクセルファイル: ダウンロード\)](#)
- ・  [T4 日報 \(エクセルファイル: ダウンロード\)](#)

【お問い合わせ】  
「映像人材育成事業」事務局  
特定非営利活動法人映像産業振興機構 (VIPO)  
映像人材育成事業担当  
TEL: 03-3543-7531 (平日10:00~17:30)  
FAX: 03-3543-7533  
Eメール: [eiyou\\_oi@vipa.or.jp](mailto:eiyou_oi@vipa.or.jp)  
住所: 〒104-0045 東京都中央区築地4-1-1 東劇ビル2F

## 5. トレーニング報告

劇場大型作品や連続テレビドラマ作品等での

トレーニング参加 3 作品 10 名／作品応募 4 作品 15 名

トレーニング平均日数 40.1 日／職種 7 種

### ① ザフル制作連続テレビドラマ作品 2 名

いずれもザフルからの推薦。同社の求人募集に応募してきた

制作会社：ザフル※

作品：「今夜はコノ字で Season2」

BS テレ東・テレビ大阪 連続ドラマ 2022/4/9(土)から放映)

制作期間：12 月 1 日～3 月 30 日（トレーニング期間は年度内）

トレーニング期間：12 月 1 日～3 月 2 日

トレーニー：2 名（演出・ポスプロ）

1) 演出 推薦

女性／プログラム期間：12 月 1 日～3 月 1 日うち 50 日間

2) ポスプロ（撮影データのデジタル管理・変換等）推薦

女性／プログラム期間：1 月 6 日～3 月 2 日うち 43 日間

3) 制作 応募なし

※中村義洋監督『殿、利息でござる！』『残穢（ざんえ）住んではいけない部屋』（16）、廣木隆一監督「彼女」（21,Netflix）、ディーン・フジオカ企画・プロデュース、松永大司監督『Pure Japanese』（22）等

### ② ロボット制作劇場用映画作品 4 名

いずれもロボットからの推薦で当人たちはフリースタッフからの紹介で本作品に参加

制作会社：ロボット※

作品：大型劇場作品 2023 年以降全国公開

制作期間：1 月 5 日～6 月 30 日（トレーニング期間は年度内）

トレーニング期間：1 月 5 日～3 月 17 日

トレーニー：4名（制作2名・アシスタントプロデューサー1名・美術1名）

1) 制作 推薦

男性／プログラム期間：1月5日～3月10日 うち50日間

2) アシスタントプロデューサー 推薦

女性／プログラム期間：1月10日～3月16日 うち50日間

3) 美術 推薦

女性／プログラム期間：1月11日～3月17日 うち50日間

4) 制作 推薦

女性／プログラム期間：2月5日～3月13日 うち38日間

※『ALWAYS 三丁目の夕日』シリーズ、『永遠の0』山崎貴監督作品や『踊る大走査線』シリーズの制作会社

※次年度事業にてポストプロ・CGなどデジタル仕上げ部分でのトレーニングが期待できる

③ マウンテンゲート制作の劇場用映画作品 4名

いずれもマウンテンゲートプロダクションからの推薦

制作会社：マウンテンゲートプロダクション※

作品：『まくをおろすな！』

ジャニーズ事務所による3万人を動員した舞台の長編映画化作品、2023年全国公開予定。

制作期間：1月20日～3月7日

トレーニング期間：1月20日～3月7日

トレーニー：4名（録音1名・照明2名・アシスタントプロデューサー(演技事務)1名）

1) アシスタントプロデューサー(演技事務) 推薦

女性／プログラム期間：1月20日～3月6日 うち46日間

2) 録音 推薦

男性／プログラム期間：2月1日～3月7日 うち35日間

3) 照明 推薦

男性／プログラム期間：2月13日～3月4日うち20日間

#### 4) 照明 推薦

男性／プログラム期間：2月13日～3月4日うち19日間

※深田晃司監督『淵に立つ』(16)カンヌ国際映画祭「ある視点」部門審査賞受賞 など制作

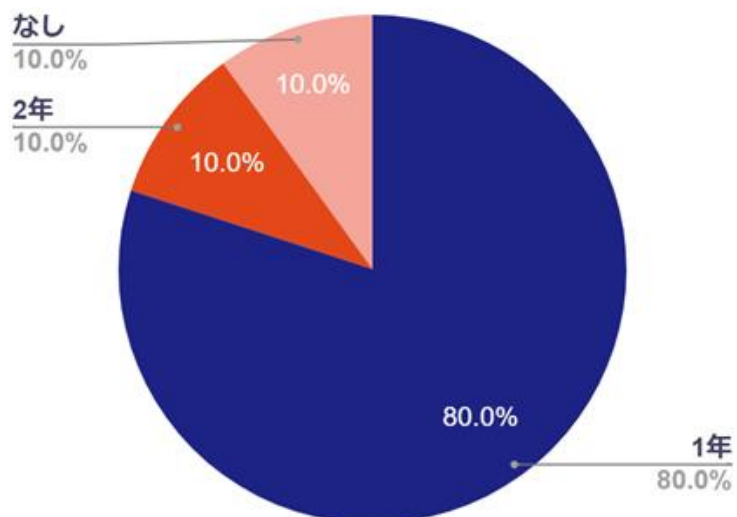
#### ●受け入れ見送り ザフル／劇場作品／トレーニー4名程

上記作品優先で、本事業内で同じ制作会社の作品のため。

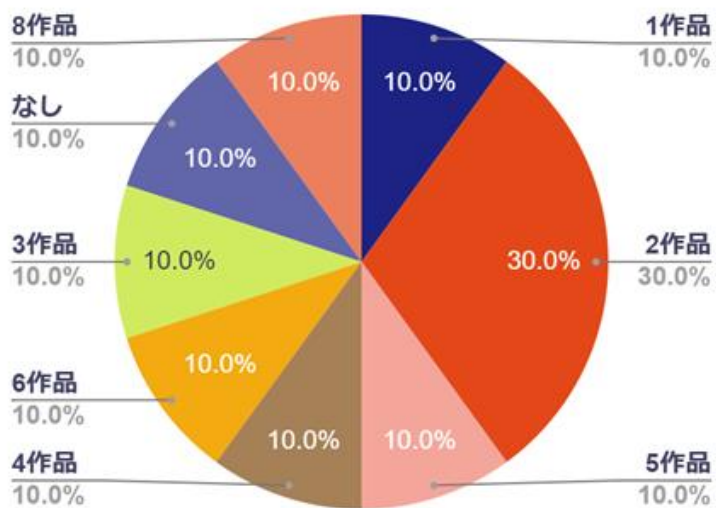
プラクティカルトレーニング2021参加者リスト

| 制作会社                |    |     | 実習職種               | トレーニング期間                                | 映像分野の履修歴                            | 映像分野の活動歴            | 経歴                                                                           |
|---------------------|----|-----|--------------------|-----------------------------------------|-------------------------------------|---------------------|------------------------------------------------------------------------------|
| (株)ザフル              | 女性 | 31歳 | ポスプロ               | 1月5日～3月25日<br>(トレーニング中)                 | 地方専門学校<br>パフォーマンス/<br>CG・アニメーションコース | 1年/1作品<br>データマネージャー | 元サッカー選手からお笑い学校に入学<br>映像分野に転向し映像大手に入社、離職後<br>学生時代の恩師の紹介で<br>ザフルへ応募            |
|                     | 女性 | 22歳 | 演出部                | 12月1日～3月1日                              | 地方専門学校<br>映像演出コース                   | 1年/2作品<br>衛生班、演出部   | 地元のブライダル会社へ就職し、<br>映像制作に従事<br>コロナ渦の仕事減をきっかけにザフルへ<br>応募                       |
| (株)ロボット             | 男性 | 25歳 | 制作部                | 1月5日～3月25日<br>※自主受入～6月15日<br>(トレーニング中)  | 地方県立商業高校<br>情報管理科                   | 1年/5作品<br>制作部       | 陸上自衛隊に約6年勤務後<br>映像分野に転向<br>友人の制作部の紹介で現場へ                                     |
|                     | 女性 | 21歳 | 制作部                | 2月5日～3月25日<br>※自主受入～6月15日<br>(トレーニング中)  | 地方専門学校<br>映画・ドラマ制作コース               | 1年/4作品<br>制作部       | 専門学校のインターン制度で<br>2作品の現場を経験。その時の先輩の紹介で<br>現場入り                                |
|                     | 女性 | 24歳 | プロデューサー部           | 1月10日～3月25日<br>※自主受入～6月15日<br>(トレーニング中) | 首都圏私立大学<br>映像系学科                    | 1年/2作品<br>制作部       | コロナでアメリカ留学が中止になり、<br>その時のアドバイザーだった<br>監督に連絡して先輩を紹介してもらい<br>現場入り              |
|                     | 女性 | 22歳 | 美術部                | 1月11日～3月25日<br>※自主受入～5月14日<br>(トレーニング中) | 首都圏専門学校<br>放送芸術科                    | 2年/6作品<br>美術部       | 専門学校時代の現場アルバイトから<br>TV制作会社を紹介され、主にCM<br>配信番組で助手を経験。<br>前作で知り合ったデザイナーからの紹介    |
| マウンテンゲート・プロダクション(株) | 男性 | 22歳 | 照明部                | 2月13日～3月4日                              | 首都圏専門学校<br>放送技術科                    | 1年/3作品<br>照明部       | 専門学校卒業後、映像プロダクションに入社<br>照明部として従事。会社OBの照明技師<br>からの紹介                          |
|                     | 男性 | 23歳 | 照明部                | 2月13日～3月4日                              | 首都圏私立大学<br>メディア文化コース                | 1年/2作品<br>照明部       | 大学卒業後、映像プロダクションに入社<br>WebCM制作に従事。撮影部志望<br>会社OBの照明技師からの紹介                     |
|                     | 女性 | 26歳 | プロデューサー部<br>(演技事務) | 1月20日～3月6日                              | 首都圏私立大学<br>文学部                      | なし                  | 本作品の幹事会社である<br>演劇企画運営会社にて演劇製作に従事<br>同社の代表が監督を務める本作品に参加<br>映像にも興味あり、プロデューサー志望 |
|                     | 男性 | 24歳 | 録音部                | 2月1日～3月7日                               | 首都圏私立大学<br>経済学部<br>映画専門学校ダブルスクール    | 1年/8作品<br>録音部       | 大学時代に専門学校で映像を学び、同校の<br>校長の紹介で録音技師に師事。<br>将来的には監督もしてみたい。                      |

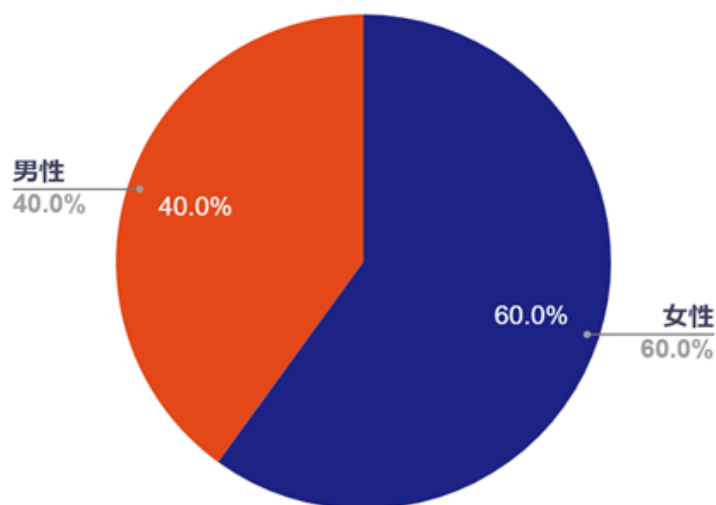
トレーニーの映像分野従事歴年数



トレーニーの映像分野作品数



トレーニーの男女比率



### 【トレーニーの参加方法について】

本年度に関しては、事業の開始時期が遅かったということから、映画映像系学校からの卒業生の推薦はなかった。当初想定していた、卒業後に参加する現場がないという学生は見つからなかった。時期的な問題もあると思われるが、業界の人材不足もあり、フリースタッフであっても、大抵は卒業後すぐに働き先が決まっているようだ（専門学校は特に就職先やルートの確保に注力しているため）。

### 【トレーニングアンケート結果】

本トレーニングに参加したトレーニーと制作会社にそれぞれアンケートを実施した。アンケートは、トレーニング終了後にトレーニーと制作会社からそれぞれ提出される評価シート内に記載された設問に返答する形である。

トレーニーアンケートは、本トレーニングに参加した 10 人からの提出。  
制作会社アンケートはトレーニー1人1人に対してのアンケート提出となっている。

アンケート結果は次ページ以降に記載しているが、トレーニーからは総じて高評価を得た。満足度・有益度・理解度が高い。また、プログラムを終えて、映画・映像業界での仕事を継続する意思も高いことが分かり、各人の将来につながるプログラムになったと言える。

さらに、このプログラムを仲間に勧める点も高かったので、次年度以降に本事業が実施する際の実体験に基づく口コミ、推奨とともに業界の若手人材への浸透も期待できると考える。

一方、制作会社アンケートについては、概ね評価は高かったが、トレーニーへ対しての指導があまりできていないと感じている指導者もいたり、トレーニーの協調性を高く評価していない点も見えてきた。指導する側から厳しく評価をしていたと考えられる。

ただし、トレーニーに映像制作の職業を続けてほしい、次の現場でもトレーニーを受け入れたいとどちらも 90%の高評価だったので、業界全体で若手人材を育てて雇い続けていくことに熱意はあると思われる。また、次年度以降の本事業の継続も期待されていると言える。

## トレーニング評価アンケート結果 【トレーニー】

アンケート回答者 9 名

※各度合いは4 & 5 と回答した人

### Q1 プログラムを通しての満足度

満足度100%

全く満足できなかった←

→とてもよく満足できた

| 1    | 2    | 3    | 4     | 5     | 無回答  |
|------|------|------|-------|-------|------|
| 0    | 0    | 0    | 2     | 7     |      |
| 0.0% | 0.0% | 0.0% | 22.2% | 77.8% | 0.0% |

### Q2 プログラムを通しての有益度

有益度77.8%

全く有益でなかった←

→とても有益であった

| 1 | 2    | 3     | 4    | 5     | 無回答  |
|---|------|-------|------|-------|------|
| 0 | 0    | 2     | 0    | 7     |      |
| % | 0.0% | 22.2% | 0.0% | 77.8% | 0.0% |

### Q3 プログラムを通して担当実務の理解度

理解度77.8%

全く理解できなかった←

→とても理解できた

| 1    | 2    | 3     | 4     | 5     | 無回答  |
|------|------|-------|-------|-------|------|
| 0    | 0    | 2     | 5     | 2     |      |
| 0.0% | 0.0% | 22.2% | 55.6% | 22.2% | 0.0% |

### Q4 プログラムを終えて、仕事を継続したいですか？

継続希望度100%

全く就きたくない←

→とても続けたい

| 1    | 2    | 3    | 4     | 5     | 無回答  |
|------|------|------|-------|-------|------|
| 0    | 0    | 0    | 3     | 6     |      |
| 0.0% | 0.0% | 0.0% | 33.3% | 66.7% | 0.0% |

### Q5 プログラムを同期や後輩に勧めますか？

オススメ度77.8%

全く勧められない←

→是非勧めたい

| 1    | 2    | 3     | 4     | 5     | 無回答  |
|------|------|-------|-------|-------|------|
| 0    | 0    | 2     | 3     | 4     |      |
| 0.0% | 0.0% | 22.2% | 33.3% | 44.4% | 0.0% |

## トレーニング評価アンケート結果 【制作会社】

アンケート回答者 10 名

※各度合いは4 & 5 と回答した人

### Q1 トレーニーによく指導できましたか？

指導力40%

全く指導不足だった←

→とても指導できた

| 1    | 2    | 3     | 4     | 5     | 無回答  |
|------|------|-------|-------|-------|------|
| 0    | 0    | 6     | 1     | 3     | 0    |
| 0.0% | 0.0% | 60.0% | 10.0% | 30.0% | 0.0% |

### Q2 トレーニーの担当実務の理解度

理解度70%

全く理解できていなかった←

→とても理解できていた

| 1    | 2    | 3     | 4     | 5     | 無回答  |
|------|------|-------|-------|-------|------|
| 0    | 0    | 3     | 3     | 4     | 0    |
| 0.0% | 0.0% | 30.0% | 30.0% | 40.0% | 0.0% |

### Q3 トレーニーの積極性

積極性80%

全く積極的ではなかった←

→とても積極的だった

| 1    | 2    | 3     | 4     | 5     | 無回答  |
|------|------|-------|-------|-------|------|
| 0    | 0    | 2     | 6     | 2     | 0    |
| 0.0% | 0.0% | 20.0% | 60.0% | 20.0% | 0.0% |

### Q4 トレーニーの協調性

協調性50%

全く協調性がなかった←

→とても協調できていた

| 1    | 2    | 3     | 4     | 5     | 無回答  |
|------|------|-------|-------|-------|------|
| 0    | 0    | 5     | 2     | 3     | 0    |
| 0.0% | 0.0% | 50.0% | 20.0% | 30.0% | 0.0% |

### Q5 トレーニーに、映像制作の職業を続けてほしいですか？

映像制作を続けてほしい90%

全然就いてほしくない←

→是非続けてほしい

| 1    | 2    | 3     | 4    | 5     | 無回答  |
|------|------|-------|------|-------|------|
| 0    | 0    | 1     | 0    | 9     | 0    |
| 0.0% | 0.0% | 10.0% | 0.0% | 90.0% | 0.0% |

### Q6 次の現場でもトレーニーを受け入れたいですか？

受け入れ希望90%

全然受け入れたくない←

→是非受け入れたい

| 1    | 2    | 3     | 4     | 5     | 無回答  |
|------|------|-------|-------|-------|------|
| 0    | 0    | 1     | 1     | 8     | 0    |
| 0.0% | 0.0% | 10.0% | 10.0% | 80.0% | 0.0% |

## 6. ヒヤリング

いくつかの映画・映像制作会社、アニメ制作会社、映像系教育機関である大学、大学院や専門学校に、若手人材の育成状況、会社所属とフリーランス、本事業への参加と活用、海外展開する際の日本人材、海外との共同制作などヒヤリングを行った。独立系映画制作プロダクションの海外経験あるプロデューサーや日本の伝統的な作品を支えてきた大手スタジオの取締役からもヒヤリングでき、示唆の富む事例や、厳しい現状が明らかとなった。

### 制作会社

#### 大手ネット配信企業 N 社

社内で独自の育成プログラムを実施している。新人複数名を1年間を通して数作品でトレーニングすることを本事業よりも優先している。発注している制作プロダクション各社へは本事業を紹介するが、事業期間中の稼働作品が少ないので本事業活用は難しい。

#### アニメ制作会社 旭プロダクション

CG や特殊効果などの業務が多い会社。アニメーターなどはフリーが多いが、社員化する傾向。コロナ前は、インターン、半年のバイト期間を経て社員化していた。特に制作は、2～3 年位前から社員化が進んでいる。社内では、トレーナーを付けて新人研修を行っている。今期は時期的に難しいとのことなので、次年度本始動の際に再度声掛けして説明する。

#### アニメ制作会社 シンエイ動画

今期は難しいとのこと。次年度本始動の際に再度声掛けして説明する。

#### 制作プロダクション リキプロジェクトプロデューサー

今年度のトレーニングプログラム該当作品ではないが、日本を舞台に、外国人スタッフとの協業を行った日本映画作品として、『ある船頭の話』(株)リキプロジェクトプロデューサーに聞いた。ハリウッド映画での日本人キャスティングなどで知られる奈良橋陽子氏の事務所でキャリアスタート。日本を舞台にした映画で色々な国から才能が集まって共同作業することがもっと浸透していけばよいと考えている人物である。

『ある船頭の話』以外での海外共同制作事例もお話いただいた。

映画制作プロダクション(株)リキプロジェクトによるオダギリジョー長編映画初監督作品『ある船頭の話』(2019 公開)で、カメラマンのクリストファー・ドイル氏を招聘。

『ブエノスアイレス』『恋する惑星』などで知られるクリストファー・ドイルが撮影監督を務め、衣装デザインは黒澤明監督の『乱』でオスカーに輝いたワダエミ、音楽は映画音楽初挑戦

となるアルメニア出身のジャズピアニスト、ティグラン・ハマシアンが担当した。

第 76 回ベネチア国際映画祭(2019)にてイタリアの批評家が選出する「ベニス・デイズ」部門に選出されるなど国際的に高い評価を得た。

【クリストファー・ドイル氏との撮影について】

・撮影・編集について日本のやり方に合わせてくれたので、海外と日本の差を感じたことはない。

・こちらへのリクエストも特になかった。

・LA と日本で活躍する日本人カメラマンを、カメラマンではなく完全通訳として採用したのでコミュニケーションは容易だった。また、こちらからのリクエストに対しても問題なし。さらに日本語の用語も多少覚えて対応していただいた。

【音楽に起用したアルメニアのジャズピアニストについて】

そこまで日本の作家と方法が違うことはない。通常の劇伴作業と同じように画を見ながら制作し、オダギリ監督の注文にデモを数曲を作り応えていただき、レコーディングは LA.で行った。オダギリ監督、プロデューサーとの簡単な英語でのコミュニケーション、もしくは通訳を挟んでのコミュニケーションに特に問題はなかった。

【『終戦エンペラー』(2013 公開)の日本ユニット】

ニュージーランドからのスタッフが多かった。

労働時間の決まりはしっかりしており、このルール枠内で徹底して撮影は進行した。そして製作本国への製作経理レポート提出は大変であった。撮影期間は長くなかったので、製作経理人員は外から入れず社内に対応。日報など各種レポートも日々提出した。

【『アジアの天使』(2021 公開) 石井裕也監督 オール韓国ロケ作品】

プロデューサーとして参加。他はほぼ韓国人スタッフ。

作業は週 5 2 時間と決まっていた。独立系プロダクションだったので、作業時間に厳格ではなかったが、コスト管理は厳しいハリウッド方式を採用していた。専任会計士 2 人がつき、各スタッフの経理処理はキャッシュレス式にしており、全員にクレジットカードを渡して精算するので、日々の精算データ管理が可能であった。

・現場スタッフのモノづくりの姿勢は欧米・韓国・日本人と変わらない。

・韓国人カメラマンとは英語があまり話せなくても、映画用語を共通言語として意思疎通できた。

・日本でのスタッフ間のコミュニケーションはアナログな方法が多い。しかし韓国では、撮影

中のカット割等もスタッフ間でのカカオトーク（韓国のメッセージングSNS：日本の LINE に相当）を利用して、デジタルで即座に全スタッフで共有することが普通であった。

・日本では、各技術パートの個人で台本に情報を書き込むことが多い。ハリウッドや韓国では、台本に全ての情報が書かれており、スタッフはそれに従う。

#### 【ハリウッド方式の制作】

・ハリウッドでは各技術パートの権限が日本よりも大きい。例として、ハリウッドの衣裳担当が日本に衣裳を探しに来て、衣裳だけではなく、現地でエキストラも選んでいる等。

・予算に関しては、大枠は決まっているものの契約書には具体的な金額の記載はなく、基本的にはボトムアップで各パートからの報告や根拠を持ったリクエストで上がってくる予算の合算となる。製作途中でも必要に応じて増額になることもある。日本では予め総制作予算が契約書で決まっている。

・台本に書かれてない、スケジュールに書かれていないことはスタッフはやらない。明確に伝えないとやってくれない。日本では各パートが先回りして準備する。『終戦のエンペラー』では日本美術スタッフの評価が高かった。

・パーディウム（Per diem 海外ロケでの日当/滞在費）は、日本映画にはないシステム。

・海外との共同製作、海外からのロケ隊の招へい、海外での撮影時には、機材等の輸送が必要になり、特殊な機材、高額なものもあるため、輸送のカルネの手続きが必要になる。

・撮影については、制作リスク管理が厳しいので、予備のために必ず数テイク撮影する。日本のように本番 1 発 OK ということはない。

#### 【日本映画界の現状と課題】

・最近の日本の現場でも iPad を持って情報共有するようになってきている。

・現場以外ではデジタル化は進んでいる。ただし、直接会って話す業務も必要。デジタル化するあまり逆に手間と時間がかかり非効率になっていることもある。

例：アナログなフィルム編集では、長ければその場で切る

→デジタルかつオンラインの現場では、編集者に発注して、編集室を確保して、出来上がりは 1 週間後になるとか。

・撮影現場環境の適正化については、製作予算と労働時間の問題になってくるので、映連や他団体含め映画業界全体で解決していく問題か、

・海外共同制作する意思を持つ日本人プロデューサーがいまだ少ないことが問題である。一部の海外共同制作の経験値のあるプロデューサーとの情報共有が必要である。

・製作委員会は日本国内マーケットのみで通用しない

・海外のファンドと組める金融の知識を持っている日本人プロデューサー、「製作経理」を実践できる日本人プロデューサーが不足している。

## 角川大映スタジオ プロダクション事業部

映画の街 東京調布にて長らく日本映画、テレビドラマを支えてきた(株)角川大映スタジオ プロダクション事業部に聞いた。

本事業の趣旨と方法は理解している。各作品のどの技術パートも人材不足である。本事業で育成する若手スタッフを紹介してほしい。今後、継続して従事できるスタッフと繋がっていきたい気持ちはある。

この冬にスタジオで進行する TV 番組やネット配信作品の技術パートでは、人材育成のために学生をスタッフとして雇っているものもある。

## 松竹撮影所（京都太秦）

日本映画、特に伝統的な時代劇の拠点である京都太秦の(株)松竹撮影所 京都製作部の取締役 に話を聞いた。

### **【プログラムに推薦をする若手スタッフ】**

松竹京都の実態でいうと、仕事の継続が約束できない(連続して仕事を約束できない)為、若手の採用やこの世界への声掛けに二の足を踏まざるをえない実態がある。その意味では、このようなプログラムがあれば、若手の仕事の継続性も担保出来、若手の採用や声掛けがしやすくなる可能性を感じている。

### **【若手スタッフを受入れる作品】**

京都の人材不足は顕著である。現状撮影所の仕事が回っていることもあり、このプログラムを利用して人材確保をする可能性は大きいと考えている。

## 東映京都撮影所 プロデューサー

松竹と並ぶ伝統的な時代劇の拠点である京都太秦の東映京都撮影所のプロデューサーに話を聞いた。

東映京都撮影所は数多くの映画・テレビの時代劇の他に、刑事・警察ものの連続テレビドラマも多く制作している。

2021 年秋の時点では、撮影所内での製作が立て込んでおり、今年度内は若手スタッフを育成する体制を整えることは出来ないが、京都での人材不足も鑑み、興味深いプログラムなので、次年度以降詳細を聞きたいとのことであった。

## 映画・映像系教育機関

### 映像系専門学校 放送芸術学院専門学校

事務局(映像産業振興機構)が他事業でやり取りしている、在阪テレビ局が集まる大阪梅田に

近い映像系専門学校の放送芸術学院専門学校 教務部長に映像業界へ進んだ卒業生の動向など話を聞いた。トレーニングの場について意見を頂戴できて参考になった。

全校学生250人うち映画ドラマコースには1学年25人が在籍。

卒業後は主に制作会社への就職とフリーランス。卒業前に、映像制作現場のチーフ的な人を見つけてから卒業して師事している卒業生が多い。フリーランスに進んだ卒業生では半人前な者はあまりいない。本編撮影に一度入ったら、次の現場を紹介していただき仕事を繋いでいっている。

ただし、コロナ禍での学生は、フリーランス＝個人事業主 では将来が不安で制作会社に就職を希望している。

経産省の本事業では、制作会社が若手スタッフに月々のギャランティを提示した方が参加しやすいと思う。例えば、見習いとして月15万円とか。

また、アニメ制作の枠があれば、学生のインターン、卒業生のトレーニングを参加させたい。ただ、アニメ制作では、厳格な守秘義務上、トレーニングの受け入れが少ないように思われる。

### **映像系専門学校 名古屋ビジュアルアーツ**

事務局(映像産業振興機構)が他事業でやり取りしている映像系専門学校の名古屋ビジュアルアーツ キャリアセンターに映像業界へ進んだ卒業生の動向など話を聞き、教育現場の意見も頂戴できて参考になった。

映像学科の先生や職員が卒業生と繋がりが強く、卒業後に連絡を取り合っているケースがある。卒業生でフリーランスに進んだ数名から聞いたところ、仕事で繋がった方々から次の仕事を紹介されている。ただし、学校としては、フリーランスよりも映像系企業に就職する方が安心である。学生本人はフリーランスを希望しているが、親御さんが反対して就職を望んでいる場合もある。また、映画業界を目指していたが、かなわずに周辺の映像業界に進む者もいる。2020年度の卒業生は、地元志向が多かったが、例年は東京での就職、活躍を目指している。

このような状況の中で、経済産業省の本事業のように、現在の2年生の卒業後、卒業生して間もない若者をカバーできる事業があればありがたい。

### **東京藝術大学大学院 映像研究科 映像表現技術 プロデューサー領域 教授**

映画制作会社アルタミラピクチャーズにて数々の周防正行監督作品にてプロデューサーを務め、現在は東京藝術大学大学院で教鞭をとる教授・プロデューサーへ話を聞いた。

大学院では、元々学生数が少ないこともあるが、映画業界内の人手不足もあり、技術系の卒業生は比較的容易に仕事が見つかり、尚且つ短期間で上のポジションに付くこともあるようだ。

ただし、短期間ということもあり技術が伴わないことが懸念される。

## デジタルハリウッド大学

### 同志社女子大学

### 映像系専門学校 東京ビジュアルアーツ

秋の段階では、卒業生の多くはすでに職を得ていると思われる（フリーではなく、就職を希望するケースも多い）。フリーを希望する者の中で、卒業するタイミングでトレーニングする機会があるのであれば希望者はいるかもしれない。次年度意向も情報共有を希望する。

## 総括（考察と今後の課題）

今回、3件の制作現場（TVドラマ1件、劇場用映画2件）で、計10名のトレーニーがプラクティカルトレーニングに参加した。10名全員が制作会社からの推薦であった。映像分野での活動歴は0年から2年、年齢は30代が1人で、9名は20代であった。参加パートは、技術パート4名（照明部2名、録音部1名、ポストプロ1名）の他、演出部1名、制作部2名、プロデューサー部2名（内1名は演技事務担当）、美術部1名であった。

- ・今回のプラクティカルトレーニング全体を通じて、成果と見えてきた課題
- ・現場でのトレーニング

映像スタッフの現場での技術習得は、映像分野での履修歴のある場合でも、OJTによって行われる。しかしながら、見習いという、いわば明確なトレーニング期間のような環境で現場に参加する機会は、現在の人材不足の状況下においては、以前に比べ少なくなっているという。そういった相応な猶予期間を経ず助手となり、十分な指導を受けられず、また、自ら質問したりすることが難しいという状況もあるようだ。

今回、トレーニーとして、公に若葉マークを付けて現場に参加したことによって、分からないことを堂々と質問することが出来た。また、周りのスタッフも積極的に話しかけてくれた、という報告をなされている。

トレーニーを受け入れた現場スタッフも、トレーニーという明らかな指導対象が参加したことにより、後進育成の必要性を再認識し、実行に移せたと考える。

従って、若手スタッフの現場での知識・技術の向上にはプラクティカルトレーニングは有効であると考ええる。

- ・新たなチャレンジ

トレーニーの中には、コロナ禍他の理由で転職するタイミングで今回のプログラムに参加した者、現在従事している職種以外のパートに参加（演劇分野から映像分野へ、撮影部から照明

部へ)した者、初めての劇場用映画にチャレンジした者などがいた。映像分野と言っても様々な職種がある。今回のプログラムに参加することが、各々が進むべき進路を考え、また再認識する良いきっかけとなった。

映像現場での若手スタッフの確保のためには、学生時代の映像関連の履修歴の有無にかかわらず、志のある人には広く門戸を開くべきであろう。そのためにも、プラクティカルトレーニングは新たに業界にチャレンジする人を後押しすることができると思う。

#### ・トレーニング方法

技術パートのトレーニーについては、各々の分野での履修歴、活動歴があり、基本的な技術については問題なかったという評価である。数多くの現場に参加し、各々の現場の流れへの対応力を身に着ければ十分に活躍できると思われる。トレーニーを受入れる現場でも、彼らのための特別なトレーニングプログラムを設けることはできないが、例えば、今回の現場の一つのように、アクション、時代劇、複数台カメラ体制などという限定的な現場の場合は、事前に別途基礎知識を身に着ける機会があれば、現場に入った時により効率的な動きが出来るかもしれない。

それ以外のパートに関して言えば、他部署との連携の重要性が高く、やはりコミュニケーション力を求められる。出来るだけ早いタイミングで、スタッフに合流し、準備段階から十分な関係性を築くことが重要であると思われる。

#### ・マッチングの可能性

プログラム開始当初は、大学や専門学校の新卒学生と制作現場のマッチングを想定し、当機構のネットワークにおいて学校の担当者に打診をしていたが、結局マッチングには至らなかった。大きな理由の一つは、秋からの事業開始を受けてのプログラムの開始時期であり、問い合わせた学校の新卒学生も今回のプログラム開始時点ではほとんどの学生がすでに就職済みであった。現場スタッフの多くはフリーランスであるため、就業の意欲はあるものの、フリーランスではなく企業への就職を希望する学生が多いのも事実である。本プログラムの開始時期が早まり、尚且つ継続可能な場合は、卒業直後のタイミングでのマッチングの可能性もあるかもしれない。トレーニーを受入れる側も、1現場に留まらず、それ以降の指導の意思も明確すれば、フリースタッフの希望者も増えるかもしれない。

#### ・今後の課題

現場スタッフの知識や技術の継承は、今後も意識的に実施することが必要であり、制作プロダクションのプロデューサー及び現場スタッフに対して、プラクティカルトレーニングの取組を積極的に啓蒙する必要があるだろう。

また、現場におけるスタッフ不足を加速されている要因の一つに、配信系プラットフォームに

よるオリジナル作品の増加があげられると考える。劇場用映画、TV ドラマに配信ドラマの制作が加わり、現場の数が増加しており、必然的にスタッフ不足に陥る。それと同時に、グローバル配信プラットフォームによる国内での制作、及び国内のロケ誘致に紐づいた海外作品の国内プロダクションの増加に対応するためには、従来の方法では難しいということもあると考える。例えば、迅速な制作費の精算などがある。日々の支出に関して、精算ソフトを用いて即時に全体予算に反映するなどの方法が今後は求められるであろう。そのためのソフトの整備、スタッフの育成なども求められと考える。

また、アニメーションだけでなく、実写映画においても、VFX 等の技術は日進月歩で進化している。海外の大型作品に対応するためにも、常に最新の技術が継承されるプログラムも必要であろう。